

活動	資源向上活動(地域資源の質的向上を図る共同活動)		
区分	農村環境保全活動	活動項目	49 水田の地下水かん養機能向上、水源かん養林の保全
取組	水田の地下水かん養機能向上活動		
取組概要	水田の持つ地下水かん養機能を発揮させるため、かんがい・防除等の営農以外の目的で水田への水張りをを行うこと。又は、新たにポンプを設置し、計画に基づいた水田への湛水を行うこと。		
ふりがな 組織名	おおたせいぶちくかんきょうじほぜんすいしんいんかい 太田西部地区環境保全推進委員会	ふりがな 実施場所	となみしおおた 砺波市太田
活動内容	<p>稲刈り後に水田を耕作し(秋起こし)、その後水を張る。地下水は、冬期の融雪散水に利用するなど、生活用水としてかかせないものであり、秋起こしの直後に水田に水を張ることにより、地下に浸透しやすい状態を作り出すことで、地下水かん養機能を大きくしている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
背景・経緯	<p>稲作に欠かせない水が枯渇しないよう、秋起こしをした田んぼに水を張る。水は時間をかけゆっくりと地下へ浸透していく。 夕暮れともなれば、水を張った田んぼには夕日の赤と「逆さカイニヨ」の黒が映り、錦秋の散居村を彩ってくれる。</p>		
時期・回数	稲刈り後		
参加者	構成員 約30名		
配慮事項	<p>活動を確実に実施するよう、当会発行の連絡紙で案内したり、直接対象となる構成員に連絡したりして、取組の向上を図っている。</p>		